

# 政策協定書

平成 18 年 4 月 9 日に告示となる弘前市長選挙において、マニフェストを提案する弘前市民の会、ならびに弘前市を考える会は、弘前市長選挙立候補予定者下田肇氏と共に、基本政策に関する合意が成立したため、政策協定を締結する。なお、選挙協力の内容については、別途選挙協力に関する同意に従う。

下田肇氏は、政策協定の事項について、実現に向け努力するとともに、マニフェストを提案する弘前市民の会ならびに弘前市を考える会は、下田肇氏の当選に向け、取り組みを推進する。

平成 18 年 3 月 26 日

弘前市長選挙立候補予定者 下田 肇

マニフェストを提案する弘前市民の会代表 上田 勝

弘前市を考える会会長 山前雄義

以下署名・捺印

# 合意された基本政策

## 【市政改革】

1. 合併後 15 年間の財政推計を明らかにし、合併特例債対象事業の見直しを進める等、健全財政の早期確立に努める。
2. 弥生地区の自然体験型拠点施設事業計画を撤回し、破綻した弘前リゾート開発の経営内容及び土地取引が適正であったかを検証する調査委員会を設置する。また、弘前公園の通年有料制は廃止し、公園管理や活用方法について市民会議を設置し検討する。
3. 外部監査制度・市民オンブズマン制度を導入し、市の監査機能を強化する。
4. 入札制度の公平性・透明性を強化するため、電子入札制度の導入等、入札制度に関する抜本的な改革を行う。なお、制度改革に際し、地元中小企業の育成にも配慮するよう努める。
5. 情報公開、市民参加、住民自治の強化を市政の基本に据え、総合計画作成への市民参加、弘前市自治基本条例の制定、地域自治区制度の導入に向け、市民を交えた検討機関を設置する。
6. 市民の目線に立った「市役所改革」を推進し、窓口業務の夜間延長や情報閲覧の簡便化等、窓口サービスの向上と職員意識向上に積極的に取り組む。

## 【医療・福祉】

1. 大型公共事業の見直し等市政の無駄を排し、予算の組み換え等によって弘前市を暮らしと福祉優先の市政へ転換する。
2. 合併前のそれぞれの市町村が実施していたサービスを後退させることなく、よい施策は取り入れ、「新弘前市」全体の施策とするよう新市建設計画を見直す。
3. 充実した予防医療・介護予防体制を作るとともに、個人負担の増大が予想される要介護者や障害者の立場に立って、施設の整備や担税力に応じた市独自の減免制度を検討する。

## 【経済・雇用】

1. マンパワーが鍵を握る、医療・福祉・教育の各分野での雇用拡大に努め、市民事業体の育成を積極的に支援する。
2. 学会・文化イベント・修学旅行の誘致・大学や専門学校の学生募集・農産物特産品の販路拡大のため、市役所内に営業促進のための専門部署を設け、市への入り込み人数の増加を図る。
3. 商店街再生特区を申請し、商店街に対する助成・税制面での特例措置を活用し、イベントの実施等を積極的に支援する。

## 【農業振興】

1. 農業分野において、地域農業の振興を困難にするような国の施策については反対の意思を表明し、二極化が進む小規模農家と大規模農家の経営格差軽減のための施策を検討する。
2. ツーリズム事業、バイオマス事業などの経営多角化、地産地消、加工・直販体制の整備を進め、農業経営強化を支援する。
3. トレーサビリティの強化、環境保全型農業、農林業生産物の営業力強化等の施策を推進して地域ブランド力の強化・浸透を図る。

## 【相馬・岩木地区に関する施策】

1. 相馬地区にあっては、老朽化著しい旧相馬村役場を改修し、住民自治の拠点となるコミュニティセンターの設置を推進。ロマントピア相馬の活用を地域住民参加のもとで検討する。
2. 岩木地区にあっては、県重要文化財である高照神社の改修、老朽化の進む宝物殿の改修事業を支援し、岩木山の貴重な自然環境資源の保護に最大限努力する。

## 選挙協力に関する覚書

弘前市長選挙立候補予定者である下田肇氏と、マニフェストを提案する弘前市民の会、ならびに弘前市を考える会は、選挙協力を行うにあたり、市民が積極的に参画できる公平公正な選挙の実現のため、政策協定とは別に、下記の覚書を交わすものとする。

1. 下田肇立候補予定者(告示後は候補者)は、選挙にあたり特定政党の公認、推薦及び支援を受けない。また、市長当選後は、各種選挙において、特定政党の候補者の支援を行わず、中立であるべきこと。
2. マニフェストを提案する弘前市民の会、弘前市を考える会およびこれらに賛同し協力する市民団体は、選挙協力を行うについて、下田肇氏および下田肇後援会から、一切の人的、経済的支援を受けることなく、下田肇氏の当選に向け、法令の定める範囲の中で可能な限りの支援を行うことを約束する。
3. 公職選挙法その他の法令を遵守し、互いに、違法行為、脱法行為を行わない。
4. 下田肇氏当選の後には、マニフェストを提案する弘前市民の会、弘前市を考える会およびこれらに賛同し協力する市民団体とともに、市民の視点に立った新しい弘前市政の実現のため、互いに協力し、定期的に懇談することを約束する。

以上

平成3月26日

弘前市長選挙立候補予定者 下田 肇

マニフェストを提案する弘前市民の会代表 上田 勝

弘前市を考える会会長 山前雄義